

令和8年度 第1回足近小学校学校運営協議会 議事録（要旨）

1 日 時：令和8年5月13日（水）9：10～11：20

2 出席者：学校運営協議会委員 13名

羽島市教育委員会 教育支援センター 所長補佐

羽島市教育委員会 教育政策課 課長、係長

3 内容

（1）委嘱式

- ・ 校長あいさつ
- ・ 教育支援センター所長補佐から、委員に委嘱状を交付

（2）委員の自己紹介

- ・ 会長、副会長、地域学校協働活動推進委員の決定
規約第10条、第1項
会長・・・足近町コミュニティセンター協議会会長
副会長・・・校長
地域学校協働活動推進委員・・・足近町コミュニティセンター館長

（3）授業参観

- ・ 自由参観

（4）協議

① 学校経営方針の説明【学校長】

- ・ 今年度は、みんなで創るよりよい学校を合言葉に、児童、保護者、教職員、地域の皆様と共に取り組んでいきたい。
- ・ 学校生活の中で一番長い時間を過ごすのは授業。その授業を充実させ、授業の中で感動体験ができるようにしたい。授業の中で適切な生徒指導に努める。児童の学びたい、やりたいを大切にしたい授業を目指していく。
- ・ 児童の創造性を発揮させた特別活動、児童会活動、クラブ活動、学校行事。
- ・ 心と体の健康と体力づくりが土台である。思いっきり体を動かして、エネルギー発散し、活力に満ちた学校づくりを進めていきたい。

② 学校評価について【教頭】

- ・ 学校経営の全体方針を受け、学校評価の観点を設定している。

③ 今年度の活動計画について【教頭】

④ いじめ防止基本方針について【教頭】

（5）学校構想検討委員会からの報告【教育政策課 課長、係長】

- ・ これまでの経緯と今後の方向について
- ・ アンケート調査の実施について
- ・ 質疑応答

【委員】学校構想イメージ図についての質問

【担当】全国の事例をまとめて記載している旨の回答。

（6）意見交流

【委員】

- ・ 全学年を参観し、児童の元気の良さが印象的だった。タブレットを使いこなしていたり、ノートにまとめていたり、仲間同士で交流をしていたりと感心した。

【委員】

- ・ 6年生が非常に落ち着いて授業に取り組み、目の真剣さがよかった。防災の学習を今年度も実施すると思うが、前例踏襲ではなく、児童が問いを見つけ、それから何をしたいのかということを考えていくような学びができるようにしたい。

【委員】

- ・ 同じようにノートを書いているけれど、書いている内容や書き方は児童それぞれで異なっていた。それぞれが理解できるように取り組んでいることが素晴らしいと感じた。

【委員】

- ・ 昨年度よりも活発な児童という印象を受けた。生き生きと活動しているように感じた。ぜひ、継続して行ってほしい。

【委員】

- ・ よい雰囲気の中で授業に取り組めていたと感じる。田植えの体験が来月に予定されている。昨年度と同様、充実した活動にできるようにしたい。

【委員】

- ・ 校長先生が率先して取り組んでいるおかげで、運動場の環境が改善している。児童が気持ちよく遊ぶことができるのもこの環境のおかげと考えている。放課後も多くの児童がのびのびと活動していることは、公園が少ない羽島市であることを考えると重要と感じている。不審者情報が多い今年度の状況を考えると安心して遊べる場所はたいへんありがたいものである。
- ・ 学校規模の話があったが、少人数の良さもあるのではないかと考えている。環境の変化がストレスになってしまう児童にとって、6年間同じメンバーで生活することは少人数の良さの一つではないかと考える。
- ・ 笠松運動公園のお出かけが行事予定に位置づいていない事情を教えてください。

【校長】

- ・ 教員が決めてこなすのではなく、児童の願いから生まれる活用を展開できたらと考えている。

【委員】

- ・ 承知した。保護者の見守りが必要であれば協力できるとの声も聴いているので参考にしたい。

【委員】

- ・ 受け身の姿勢ではなくて、自分たちが何をしたいかという主体性と協働性を育んでいこうとする姿勢が伝わる授業参観だった。理科の授業では、その姿勢を強く感じたところである。また、道徳の授業も輪になって、大人でも迷っちゃってしまう内容のことを、それぞれが様々な意見を言い、それを受け入れていく姿勢が素晴らしいと感じた。
- ・ ミシンのお手伝いもぜひ行ってほしいと考えている。

【委員】

- ・ 卒園して1ヶ月半ぐらいしか経っていないが、なんかずいぶん変わった印象を受け、すごく成長を感じた。保育園にいるときは、もうちょっと幼い感じがあり、先生を頼ってい

るところが大きかったが、小学校に上がるとずいぶん表情も含めて変わるんだと、今年には特に感じた。また、児童が手を振ってくれている姿からも、生き生きと生活していることを感じた。

- ・ 学びたい、やりたい、楽しい授業、主体的な学びということは、保育園の方も主体的な保育ということで取り組んでいる。夏には小学校の先生が実習をすると思うが、実習等も含めて、うまく連携して今年度も取り組んでいきたい。

【委員】

- ・ グランドで遊んでいる姿から良い雰囲気を感じている。授業でも、児童同士のかかわりを大切にグループワークも取り入れていることがよいと感じている。
- ・ 給食についての意見

【委員】

- ・ PTA も前例踏襲ではなく、皆さんにとってよいことは何だろうかと考えながら取り組んでいるところである。PTA 自身も変わりながら、児童支援を行っていきたい。

【委員】

- ・ 児童の自主性、児童が何をやりたいのかを考えていく取り組みはよい方向とを感じる。自主性を小学生のうちから育ていかなないと自主性が身に付かないのではないか。
- ・ 前例踏襲をしないことは良い面もあるし、悪い面もあると考える。活動を見直す際、いつ、誰が、どんな背景で始めているのかという原点を知ることが、見直す際に必要な視点である。社会情勢や児童の環境に合わないこともあるが、原点を大切にしたい見直しであるべきと考える。

【市教委】

- ・ 地域の方のご尽力に大変感謝している。
- ・ 6年1組の授業がたいへんしっとりとした良い雰囲気の中で児童が学んでいた。児童が黒板に書いているときも、輪になって話をしているときも児童が相手の考えを大切にしていることが素晴らしいと感じた。そのほかにも足近小学校が大切にしているみんなで考える授業が見ることができたと感じている。
- ・ 不審者事案も足近町内で起きている。市としてもパトロールをしているが、地域の皆様も見守っていただきたい。

(7) 閉会のあいさつ【会長】

- ・ 今年度も地域の子どもたちが良い方向に進んでいけるよう尽力いただきたい。

(8) お礼のあいさつ【校長】

- ・ いただいた貴重な意見の一つ一つを真摯に受け止めて、取り組んでいきたい。

(9) 諸連絡【教頭】

- ・ 今年度の協議会日程について確認